

## 第6回千倉地区学校再編検討委員会 会議録

日時 平成25年 1月29日(火)  
午後7時から午後9時30分まで  
会場 千倉保健センター3階機能訓練室  
出席委員 22名  
欠席 高橋委員、堀内委員  
傍聴人 5名

### 1. 開会

### 2. 委員長挨拶

新しい年になりましたが、継続して第6回になりました。先日、忽戸小と朝夷小のPTAの要望で説明会に参加しました。いろんな意見はありますが、我々としてはきちんとしておかないと、先へと進められないので、検討して先へ進めたいと思います。

### 3. 教育長挨拶

PTAの役員さん方と協議して、前回の会議で26年度に1校という案を提示しまして、それについて、皆さん方の御意見をいただいて、各PTAで説明会を委員長・副委員長も出席していただいて、やってきております。今日はその報告もいただけるかなと思っています。説明会に行き、お話しするんですが、国の人口推移が2007年から2050年までの43年間で半分以下に減るといふ推計が出ていますが、これがなかなか御理解いただけない。実際に、50年前の千倉は1学年450人ぐらいだったかと思います。それが今、0歳児・1歳児は45人という数字が出てきております。過去50年さかのぼりますと、2分の1どころか、10分の1に子供たちの数は減っているということで、これから30数年の間に半分になるということは、決して、あり得ない数字ではなく、より現実的な数字だと私どもは考えています。したがって、10年後を考えると今から何らかの行動をとっておかないと間に合わなくなってくるという思いを持っておりますので、本日の協議をよろしくお願ひします。

### 4. 報告

次第の4の報告等として、前回の第5回検討委員会の内容について報告させていただき、その後本日会議資料の確認をさせていただきます。第5回の学校再編検討委員会を平成24年12月13日に行い、この時の出席委員は24名となっております。議題の1号として「学校再編の方向性について」検討していただきました。千倉地区PTA連絡協議会と教育委員会とで意見交換会を2回ほど行いましたので、それらを踏まえて、それぞれのPTAから御意見をいただきました。まず、七浦小PTAでは、PTA役員会を行い、統合は1回にしてほしい、またスクールバスの無料化という御意見となっております。忽

戸小PTAでは、保護者にこれまでの経緯を説明し、決を採ったということで、統合するなら1回で健田小に行くという御意見でした。朝夷小PTAでは、保護者会を開催したところ朝夷小に3校と健田小の2校案という意見が多かったとのことですが、他の小学校の動向なども考慮して、朝夷小と他の3校で行くことも了承しているとの御意見でした。健田小PTAは、PTA役員会を行い、4校を健田小に統合することについては、特に問題はないが、幼稚園が朝夷小に移ることについては、海拔の問題があるとのことでした。千倉地区PTA連絡協議会としましては、いろいろな意見が出ている中で、このままでは、まとまらないとの見解から、1校にする方向で話を進めてみたらどうかという話になったとのことでした。そこで、事務局から再編の修正案を出させていただきました。修正案の概要は、幼稚園については、平成26年度から4つの園を統合し、園舎は朝夷幼稚園舎を使用する。平成27年度から統合幼稚園とちくら保育所を統合し、朝夷小校舎を活用した幼保一体施設を開設する。小学校については、平成26年度から4校を統合し、校舎は健田小校舎を使用する。普通教室が2つ不足するため、特別教室あるいは健田幼稚園舎を使用する。学童保育については、健田幼稚園の遊戯室を使用する。というもので、これらの教室等を使用することについては、学校側と打ち合わせをさせていただき、対応することも可能である内容となっております。この修正案について、検討していただきましたが、PTAに修正案を説明した方が良いということとなり、現在、説明会を行っている状況となっております。

報告は以上となりますが、委員の皆様には前回の会議録を事前に送付させていただいておりますので、本日の会議にて御承認をいただき、市のホームページに掲載したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

(質疑等なし)

## 5. 議事

事務局 議長委任「傍聴人の入場よろしいでしょうか。」

委員長 許可します。

(傍聴人入場)

本日の出席委員数は22人です。過半数に達しておりますので、会議は成立いたします。議題第1号「学校再編の方向性について」を前回に引き続き、議題といたします。事務局から何か説明はありますか。

事務局 前回、改めて再編案を事務局から提案いたしました。各PTA代表から、一旦持ち帰って相談してくる事になっております。また、必要に応じて、委員長・副委員長の同席のもと保護者への説明会や懸念されている事に対するQ&Aを作成し、資料として配付もしました。今日は、何らかの結論がいただけるものと思っておりますので、それぞれのPTA代表から御発言をいただければと存じます。

委員長 前回の会議を踏まえて、説明会を開いた学校の役員さんから報告をしてもらいたいのですが、七浦小と健田小は説明会はやっておりますが、何か発言が

あれば報告していただきたいと思います。

委員 七浦幼小はやっていないのですが、前回と同じ意見で変わりません。

委員 忽戸幼小は1月10日に説明会を開きました。その説明会の中で若干保護者の中から「2校案はどうなったのか。」とか、そういう質問もありましたが、忽戸小として集約したのは、「一度で行くなら健田小。」という意見だったので、そのもっと詳しい説明、健田小に見学に行って、どういう所を直して欲しいとか、そういう要望を言いたかったようですが、時間が足りなくて、もう一度、機会があったら説明して欲しいという意見が多かったです。あと、出たのが、幼稚園がどうして朝夷小なのかということのウエイトが大きかったように思います。

委員 朝夷幼小は1月24日に説明会をやりました。当日は40数名の出席でした。内容ですが、「2校案がどうして駄目なのか。」という意見はやはり根強く出ております。また、母親たちからは1校になった場合の具体的な意見が出たと思います。その場では、保護者の集約ということで、この1校案でどうかということの多数決は採っておりません。全ての案において、メリット・デメリットが出てきております。朝夷幼小としては、ずっと集約してきた意見はぶれずに行こうということになっております。朝夷小単独で残ったとしても、朝夷小の子供たちの学校生活は満足しているという保護者の意見が強いです。今後、子供の人数が減ってくるのは統計上も出ておりますが、複式学級は当分避けられる中で、単独で残ると、1校に統合になることのプラス・マイナスの要因を加味すると、今は単独で行くことでおかしくないのではないかという意見が強いです。ただ、検討委員会の流れがあるのも承知しております。その流れを我々も受け止めて、その場の立場でまた御意見させていただきたいと思います。

委員 健田幼小は1月11日に子供を通じて、アンケートと教育委員会からいただいた海拔についての資料を一緒に配りました。だいたい2週間くらいの回収で20件くらいの意見がありました。その中で、やはりどうしても海拔について不安に思っている方も多いようで、具体的に読ませてもらいますと、「今、学校に通わせている立場では、言葉が少し悪いですが、少なくとも現状よりも悪い、海拔が低い環境に子供を送り出すのは理不尽です。いくら（海拔）15.6mあるとは言え、確実に海拔が下がるということは、わざわざ危険な目に遭いに行くのと一緒です。いつ起こるか分からないからこそ備えるのに、どうして海拔が低く、川が近くにあり、道も車がすれ違えない所を選ぶのか。」とか、最後にもありましたように、交通についてもいろいろ出てきているんですが、健田は現在、3方向から入れますが、朝夷小は一つしかないかなということで、道が狭いか迎えが集中した時とかの意見もありました。また、幼保一体施設ということでの意見で読ませてもらいますと、「小学校と別々になって、

今まで一緒にやってきた行事が小学校は小学校、幼保は幼保でやるようになると思いますが、一緒にやる行事を残して欲しい。特に運動会などは一日がかりなので、仕事を休む都合もあり、一緒にやってもらおうと助かります。他にも、小学生に本を読んでもらったり、小学校に見学に行く行事もあったので、交流があると小学校に上がる時に安心です。」という意見もありました。あと、朝夷小の関係者の方には大変申し訳ないですけど、どうしても海拔の問題と道路の問題が根強くあるような感じです。それとアンケートの中には、私に対する批判もいくつかあり、私の説明が足らなかった点もあって、この案は健田小PTAの案ではなくて、教育委員会からの案ということで話はしているんですが、どうもPTAが教育委員会と一緒にやっていると疑念を抱いているようで、きちんとした説明が欲しいというような意見もありました。

委員長 それぞれの小学校の様子を説明していただきました。これらの説明の中で、健田で出てきた幼保についての問題。小学校の意見は朝夷で出てきました。だいたい、今までも話し合ったことの意味が出てきました。このことにつきまして、新しい案、26年度に千倉地区の4校が統合して健田小へ移る案と保・幼を含めた案として、26年度に幼稚園4園が統合して朝夷幼に移って、27年度から改修した朝夷小へ幼保一体の施設と。この案につきまして、何か説明しきれないところや疑問に思うところがありましたら意見を出していただければと思います。何かありませんか。なければ、検討委員会としての学校再編の方向性をきちんとまとめてしまわなければなりません、よろしいですか。ここで決定していかないと、具申ができませんので、検討委員会の意見としてまとめたいのですが。それでは、もう一度、確認いたします。小学校に関しては平成26年度から千倉地区4校を統合し、校舎は健田小学校を使用する。幼稚園に関しては平成26年度から千倉地区の4園を統合し、園舎は朝夷幼稚園舎を使用する。幼保一体施設を27年度から改修された朝夷小学校校舎で開設するという案になりますが、これについてよろしいでしょうか。

委員 先ほど、小学校PTAからお話しをさせていただきましたが、他の委員の方の御意見を確認したいのですが、いかがでしょうか。

委員長 それでは、御意見がありましたらお願いします。

委員 PTAの意見も分かるんですが、何回やっても同じですから、そろそろ、まとめの段階に入っていただきたいと思います。教育委員会は26年度から4校ということで進めているので、その方向でやっていただければ良いのではないかと思います。

委員 PTAの話聞いていますと、朝夷小は2校案でいけたらいきたいということでしょうし、健田小の場合は海拔に大変こだわっているようですけれども、この辺のところは説明がつけば、1校にしても良いのではないかと思います。

んですけど。各PTAからすれば、いろんな意見があろうかと思います。今日、健田小学校で子供たちの防災マップの研究を聞いてきましたが、子供たちも防災について真剣に考えて、自分たちの避難場所や逃げ道を模索して、一所懸命、頑張っているようでございます。海拔の低さもあろうかと思いますが、小学校1年生を七浦から健田まで送り出す保護者の気持ちも考えて、皆さん方も各PTAに帰りましたら、そういったところを含めて、対極的に物事を考えていただくように話し合っただけであればよろしいのではないかと思います。

委員 私も1回で4校統合が良いと思います。前々回での、校長先生方からもそのような話がございます、いろいろ聞いていまして、4校で統合した方が良いと思います。

委員 七浦小ですが、元々、統合やむなしということを考えていましたので、希望としては「一度の統合で。」ということでは言っていました。今回出た案が一度ということですので、そのことについては別にありません。ただ、一年間の中でそれぞれの学校のすり合わせができるかどうかということが多少不安を感じています。

委員 忽戸小は先ほど忽戸小PTAが言ったとおりの方向で。

委員 朝夷小はいろんな意見が出ております。それと、当初の案と変わってきているという状況がありますので、時間がないという部分での不安がないわけではありません。保護者についても説明がつけばということで、先ほどお話がありました。26年度ということであれば、理解をいただければと思います。

委員 健田小ですが、今回、会長と一緒にアンケートを取りまとめた中で、少し付け加えてですが、小学校が一気に4校統合することや、幼稚園が一気に4園統合することについての直接的な反対意見というのは少なかったと思います。それよりも健田小でアンケートに書かれていたのは、先ほどPTA会長が言ったように、朝夷での交通の問題とか、新しくできた幼保園の海拔等の心配に基づく、防災をどうするのかということ。あと、幼稚園と小学校が分かれてしまうことによって、これからの教育はどうなっていくのかという不安が多く見られたと思います。この辺については、きちんと説明をすれば御理解をいただける場所なのではないかと、私はアンケートを読んで思いました。ですから、今後、どう説明していくかが、求められているのではないかと考えています。

委員 千倉中は方向性については、異議はありません。各小学校等の心配の内容的なことについては、地域や学校が知恵を出し、新たな歴史をつくって、「前より良かった。」という方向性を築けば解決できる「人の努力」のことかと思っています。ただ健田幼から朝夷幼に行くときの物理的なことについては、例えば、幼保一体の施設改修のときには子供たちが避難できるように、屋上まで行けるよう施設を充実させるとか、避難のための施設をしっかりとするというような形で保護

者の方たちの心配を少しでも解消できる方向で対応していただくことは必要だと思いますが、方向性については異議ありません。

委員 方向性は良いと思いますが、私は七浦学区の出身なので、七浦小PTAの会長の意見をこの会でもお話しをしてきたんですけれども、いつの間にか、前回の案でということ。方向性は良いとして、その前に町P連と2回会議をやったと、前の会議で教育長がおっしゃっていましたが、町P連と会議をやるということは、我々は何のための委員かとある委員と話したことがあります。やり方としては、どうだったんだろうかと。この方向性は、幼稚園は自分としては納得していないんですけど、七浦小PTAは当初から、「どこでもいいから1回で。」ということでしたので、良いのではないかと思います。今までのやり方には不満はありますが、おおむねよろしいかと思います。

教育長 今回のPTAの会長・副会長と話合ったという件ですが、この再編検討委員会で区長さん方とか学識経験の方、そういった方が自分達は1校で良いだろうと。あとはPTAの方たちが最終的にどんな考えを持つかということだから、PTAの方と話し合ってきたということ。私がPTA役員の方々に投げたのではなく、この再編検討委員会の話し合いの中で、直接子供を持っている保護者の考えを大事にしようという流れの中で出てきたことだと私は理解しています。その中で千倉中のPTA会長が中心となって、何回か集まって「PTAとしてはどうするんだ」という話し合いを持っていただいたというのが、私の理解ですので、その辺、誤解があったとすれば、大変申し訳ないと思いますが、会の流れとしてはそういう流れであったと理解しています。

委員長 よろしいですか。

委員 はい。

委員長 それでは、次の委員。

委員 個人的な意見は別として、今までの会議の流れを考えた中で、統合を1回でということは、いたしかたないのかなという気はしています。ただ、先ほど、健田小の校長も言っていたように、健田の場合、幼稚園が小学校と一緒にしていたのが分かれる中で保護者の方たちの不安がどういうもののかなという気がしますが、敷地的な問題で健田小では絶対無理ということですか。そうであれば現状の中で。あとは、時間的なもので、本当に26年度から統合が可能なのかなという感覚を持つんですけど、それはいかがなものなんでしょうか。25年度、1年間の中でいろいろな部分がクリアできるのか。早急にしないで、27年度からでも良いのかなという気がしないでもないですけど。

事務局 26年度から大丈夫かということですが、日程的に言わせていただければ、今日、方向性がいただけるのであれば、3月終わりまでに最終的な方向性が出せるのではないかと考えています。来年、25年度の1年間を統合に向けた1

年ということで、PTAや先生方を含めて、細かいことを決めていくことが必要になってきますが、それは皆さん方の御協力をいただかなければ、解決できないものでもありますので、基本的には26年度から大丈夫だろうと私どもは考えています。

委員 ずっと会議を続けていまして、複式学級とか早急に統合しなくてはいけないのかなということ、教育長からもありましたが、財源が5年延長になったとはいえ、満額ついてくるわけではなく、だんだん減っていくだろうという不安もあり、10年、20年後を見越した再編となってきますと、このような形になるのかなと思いますので私は異議ありません。

委員 方向性という考えがよく分からなくなってしまうんですが、この検討委員会の中の考え方ということで、これからまた説明会があって、保護者や地域の考え方が反映されていくのかなと思うと、私は小学校についてはこれで良いのかなと思いつつも、その経緯を考えると来年できるのかなと。やはり1年、いろいろな人の意見を聞いて、進めていければ良いのかなと。できれば27年度に小学校はやって欲しいと個人的には思います。もう一つ、皆さんに考えていただきたいんですが、幼稚園の検討が今までそんなにされていない。委員長も会議録を見ると、前回会議で「今回は幼稚園の話しをしましょう。」と言われてる。先ほど、忽戸小も「どうして朝夷小なのか。」と。たぶん七浦小の方も同じ話で、健田小は今より低い場所に行くので、とても不安だと。私も不安です。健田だけでも残してもらわないと、保護者の皆さんが納得しないのかなというところもあります。そう考えると、私は幼稚園だけでも、もう少し話しをしてから方向性を決めた方が良いのかなと。前回言ったとおり、3月までであれば、できればもう一回、幼稚園のことについて、皆さんと検討したいというのが私の意見です。

委員長 御出席の委員の方の考え方を出示いただきました。幼稚園の問題、保育所の問題については、前回、私もそう言った覚えがあります。小学校についてはこの方向で、元に戻すようなことはしないようにしましょうと、約束したつもりでいます。もう一つは、幼稚園の問題については検討する余地はあるのかなと。あるいは、説明会をやって、ちゃんと説明することが必要かなと個人的にはそう思っています。その辺のところについて、教育委員会から話を聞きたいと思っておりますけど。アンケートの中にも、そういうようなことが書いてありましたし、海拔の問題が出ておまして、教育委員会からは次のように答えています。『内閣府防災担当からは南海トラフ地震が発生し、最悪の事態が重なった場合は、南房総市に9mの津波が押し寄せると言われています。南房総市では、南海トラフ地震による本市の最大津波高が9mとされているため、若干の余裕をみて津波高を10mと想定し、津波避難所や公共施設の新築などは、

おおむね海拔15m以上の場所としています。』とこういうことが一つの目安になっているようです。『以上のことなどから、元禄地震や南海トラフ地震を想定した津波の場合でも、海拔15m以上の場所であれば浸水からは逃れられ、仮に浸水したとしても校舎の2階よりも上に避難すれば身の安全は確保されると判断し、海拔15.6mの朝夷小学校を幼保一体施設の予定地として提案しました。』とアンケートの中に書かれています。考えてみると、15m以上が一つの目安とみることができます。ただ、想定外というのがありますから、必ずしも安全とは言い切れませんが、ある程度、分かってもらえるかもしれません。いろいろな細かい問題がありますが、小学校4校を統合して、健田小学校に移すということはよろしいですか。これについては、だいたいの方がこの御意見だったと思います。幼稚園に関しては26年度から4園が朝夷幼に移ることが今、問題になっている点だと思います。したがって、とりあえず小学校の統合については26年度に一つにするということで、御了解いただいたということによろしいですね。

委員 不安があるんですが、26年度ということで、今、委員長がおっしゃったんですが、全体的に何人かの方が「26年度で間に合うのか。」という不安を持っているので、これからやらなくてはいけないことを言っていただくと助かるんですが。仮に是として。

事務局 仮に26年度から4校が一つになった場合、3月に意見具申を教育長に出していただきます。この意見具申を受けて、市議会の方へと報告をいたします。その後に予算が絡んできますので、予算につきましては、4月の定例教育委員会に補正予算の提案をします。その後の6月の議会の時に補正予算を提案して、仮に可決となった場合には、統合に向けた校舎等の改修や備品の購入の準備に入ります。10月に県の教育委員会にこの統合の報告をしていく流れになっています。細かな、例えば、校歌校章や通学支援、学用品部会などの細かいものについては専門部会ということで、検討委員会の委員さんや専門部会員さんを今後、推薦していただき、それぞれの部会ごとに話を詰めていく形となります。また、その部会ごとに会議日程等も変わってきます。例えば、通学支援部会ではスクールバスの購入や路線の変更の必要がある場合は会議の間隔が短く、頻繁に会議を行っていただくこととなりますし、校歌校章部会については公募とか、そういったものをやって、ある程度の目処が付けば専門部会としての役割が終えていくと。それは部会によって異なってきます。そのような日程で今後は進んでいきますので、1年という間で学校の先生方を含め皆さんの御協力をいただきながら、26年度統合に向けて進めていくということで可能と考えております。

委員 全てが終わるのは、例えば、何月までですか。



事務局 県の教育委員会の報告は10月にしなければなりません。その後は、例えば通学支援部会でスクールバスの購入となると、購入自体は26年度にならないと購入できませんが、その予算が25年11月に26年度予算編成となりますので、それまでに通学支援については決めなければなりません。ですので、部会ごとにタイムリミットが変わってきますが、富山の場合には校歌ができあがったのが遅れて、統合直前の3月というケースもあったようですので、2月、3月でも統合は可能かと思います。

教育長 これは子供たちには直接は関係ないですが、一番大変なのはそれぞれの4つの小学校で閉校記念行事というのを計画されるかと。要するに、記念誌をつかって、25年度の終わりごろにそれぞれ4つの小学校が閉校式をやるという。この準備とかそういったものは、ある程度時間をかけないとできないかと思いますが、富山小学校は閉校記念誌を半年間でつくりましたので、1年あればできるかと、そんな思いを持っています。もう一つは、4校の子供たちの交流を25年度の4月から校長先生方に骨を折っていただいて、いろんな形で4校の子供たちの交流を計画的に進めていくというのも、これも1年間で計画的にやっていけばよろしいのかなと考えております。

委員 わかりました。聞きとめるというところで留めておきます。

委員長 細かいことが出てきましたが、その都度、また検討しなければならぬと思います。教育委員会から話がありました様にすり合わせは、おおむね間に合いそうだとごさいます。先ほどから問題になっている小学校については4校が26年度で1校になるのは大方の方が良いだろうと。幼稚園に関してのことですが、26年度4園統合して朝夷幼稚園へ移ることはどうでしょうか。それでは休憩を入れますので、もう一度、確認します。小学校に関しては、26年度から千倉地区4校を統合して、健田小学校舎を使うということについては、おおむね御了解をいただいたということによろしいでしょうか。全般ではなくて、このことについてはよろしいでしょうか。異議ありませんか。

委員 異議ありませんが、朝夷小にもう少し丁寧に説明してあげたらどうでしょうか。なるべく説明して、納得していただけるように。ここで決めてしまうことではなくて、皆さん方も承知はしていることだと思いますけど、ここの会議に出ている委員はそれだけの責任を感じるのではないかと。もう一度、丁寧に説明をして、理解してもらう方法をとったらどうでしょうか。

教育長 朝夷小の説明会に行ってきましたが、最初の一人の人の発言なんですね。その方が次から次へと発言をして、「2校案だ。」ということを主張して。その方がおさまったら、あとは具体的なスクールバスはどうするのかとか、具体的な内容になってきましたので、先ほど、朝夷小PTA会長から「根強い意見があった。」とありましたが、私から言うと、「極めて限られた人の根強い意見」と

いうことで、私はこの後、何回説明会を開いても、そういう方の意見は変わらないなど。例えば、忽戸小もそうだったんですが、会長さん、違っていたら訂正していただきたいんですが、極めて限られた人が「我々は、我々は」というような言い方で、ほとんど一人か二人の人が異議を唱えるということで、他の方は統合そのものに反対というよりも、「通学支援はどうなんですか。」とか具体的な話の質問になってきますので、これはどこの説明会に行っても同じなんです。統合を前提として発言なされていると私どもは捉えておりますので、今、委員から「丁寧に。」と言っていたいてありがたいことですが、私どもとすると、かなり丁寧にやって、これ以上何かやっても、同じ方が同じことを言うのかなと考えております。朝夷小PTA会長さん、忽戸小PTA会長さん、何かあれば。

委員 どの小学校もそういう傾向はあるかと思いますが、我々としましては、別にきれい事ではないと思っていますが、その方、一人の意見で意見集約をしているという認識は持っていません。ましてや、その方は、意見の裏付けになる説明資料も出してくれています。認識としては、振り回されているとかそういったことは、我々は思っておりません。ただ、保護者会の出席は40名とお話しさせていただきましたが、全校でいうと3分の1です。逆に80名の方はどう思っているのかと。この検討委員会もそうですし、保護者会も、この問題に関しては、多数決という方式はそぐわない面があります。それは理解していますが、そういったわけで、なかなか決を採れない状況もあります。ですので、反対意見も賛成意見も実は混在していますし、いろんな意見があるというのは皆さん重々承知しておりますが、最終的には子供たち。いろんな社会環境ですとか、様々に変わっていく中で、今後、子供たちにとってということで、皆さんが御理解をいただけるのであれば、この流れとか、方向性はあると思います。朝夷小が、我々が反対をして、この会合を止めるというような認識は持っておりません。ただ保護者の方には、丁寧に説明させていただくということは約束させていただいておりますので、それに関しましては、我々なりのやり方で、丁寧な説明はしていきたいと思っています。ただ、よろしいですかと聞かれて、我々は「はい。」と言うわけにはいきません。そこは御理解をいただきたいと思えます。

委員長 どのPTA役員さんも、ある程度分かっている人たちの集まりの中でも簡単に答えが出ないものがいっぱいありますし、それから、隣近所のいろいろな声も聞こえてくるだろうし、地域のこともあるだろうし、本当に説明会へ行きまして、「そういう意見もあるのか。」ということを感じました。そういう中で、PTA役員さんはPTA役員さんのものの考え方の中で、この検討委員会の方向性の内容をどう説明していくかということを感じていらっしゃること

はよく分かります。ただ、この検討委員会としては、一つの意見にまとめなければ、答申にはならないわけで、検討委員会の意味がなくなります。そうしなくてはならない使命があります。そういうことで、多数決をするわけではありませんが、皆さんの意見の中で体制をこうしていく、また教育委員会、あるいはそういうところに皆さんの声が聞こえていけるようにしていかなければならない。とりあえず、先ほども言いましたが、少し休憩を入れたいのですが、26年度に小学校4校が統合して、健田小学校を使用するというので、これだけは御理解いただけますか。

(異議の声なし)

委員長       それでは御理解いただけたと考えます。したがって、それによっては幼稚園が提案されているような方向になるわけですが、この問題については休憩をはさんで、もう一度したいと思います。

(10分休憩)

委員長       それでは再開したいと思います。幼稚園に関しての議論が少なかったのではないかと、先ほど質問がありましたが、幼稚園について話し合いをしながら、健田小でアンケートをとったということの中のいくつかの疑問点とか、不安点というようなものを説明して、少し話しを進めていったら良いのではないかなと思っています。まず、26年度から4園が朝夷幼稚園に行くということに関連しまして、その辺のところから議論していこうと思います。

教育長       現在の健田幼稚園・小学校を建てる時に小学校の統合ということは想定していなかったということが一点、もう一点はその計画を立てた時に幼保が一体化していくというのも全く話しがなかったわけです。実際に健田幼稚園・小学校を建てて、何年かしてから、幼保一体化施設を南房総市はつくっていくという計画が出てきています。あとは小学校の統合もその後に出てきた問題ですので、健田幼小につきましては、健田のPTA会長にはいろんな資料をお渡ししていますが、非常に狭い構造になっています。まず、25年度から工事が始まる三芳の幼保一体施設は敷地の面積が約8000㎡です。建物の面積は1800㎡を予定しています。子供の数からいうと、だいたいこの程度で、千倉も同じくらいの規模になるかと考えています。それよりも人数が少ない富山幼保一体施設については敷地面積が2200㎡、建物の面積は1200㎡を予定しています。現在の健田幼稚園ですけど、園舎の面積が900㎡、園庭の面積が730㎡、合わせて約1600㎡ということで、幼稚園の園庭としても少し狭いかなという印象も持っております。したがって、幼保一体の施設を考えていった時には健田幼小の今の敷地の中で約5000㎡が必要になってきますが、その敷地を確保することが困難であるということです。次善の策として、朝夷小学校の校舎を大規模に改修して使うという案を示したわけですが、そこ

で、朝夷小の海拔が15.6mで安心できないということで、これにつきましては、先ほど、委員長が読み上げましたが、南海トラフの最大津波高が9m、それよりも余裕をもって10mで想定しております。元禄の地震が今から約400年前に来ていますけれど、400年、500年さかのぼっても、これより高い津波が来た記録がないわけです。国で出している最大9mの高さ、それにさらに6mの余裕を持って15m以上の高さということで、朝夷小に限らず、全ての市の施設は15m以上の所ということでやっております。その辺のところは御理解いただければと思います。確かに、健田幼稚園よりは海拔は低くなるわけですが、決して危ない所に行くのではないと。私どもが想定している範囲では、朝夷小が津波で襲われることはありませんので。あとは、3階建ての校舎をそのまま改修して使う予定ですので、海拔が15.6mあって、そこへ3階建てのコンクリート建物がありますので、25~26mぐらいの高さになるということで、津波については全く御心配いただかないということが、私どもの基本的な考えです。これでも心配だということになりましたら、私ども、根気強く、御理解いただくように説明していくしかないと思っています。もう一点、懸念されているものが、道路が狭いということですが、確かに狭い所がありますので、これから検討することは、途中でスペースを何か所か設けて、車交換ができるような所を用意するとか、そういったことも考えておりますけれども。これにつきましても、これから幼稚園に入園させる保護者の理解を得ていくような説明はしていきたいと思っています。もう一つの課題ですが、ちくら保育所の海拔が3.4mですので、これはやはり何らかの形で早急に高い所に移さなくてはいけないということも、大きな課題として持っておりますので、これも含めて、幼保一体施設について御理解いただければ大変ありがたいと思っております。

委員長 先ほど出てきた、いくつかの不安材料について、今、教育長から話がありましたが、どうですか健田の方では。

委員 教育長から大変丁寧に説明していただきまして、ありがとうございます。私は今、分かったんですが、これを人に伝えるとなると、うまく伝えられないことがありますして、もしよければ、幼稚園についてはアンケートでいろいろな意見がありますので、健田幼稚園の現在の保護者や、今後、幼稚園に通うであろう方に説明していただければと思います。私が説明すれば良いのですが、なかなか、うまく伝えられないことがありますして。

教育長 皆様の御理解が得られれば、検討委員会として、教育委員会として、広く呼びかけて説明会をしていく必要があるかなど。例えば、今、健田幼稚園の保護者の方となると、実際、26年度には小学校に入ってしまうわけです。今、0歳児・1歳児の子供を持っている保護者を対象にして、広く呼びかけて、千倉

地区の幼保一体施設はこういう考え方でやりますと説明をして、安心していただくということはやらなくていけないとは思っています。

委員 ぜひお願いします。

委員長 健田幼稚園のことが中心になってしまいましたけど、他の幼稚園も朝夷へ移るわけです。これらについても、ちゃんとした説明会を開かないといけないのではないかと思います。今、教育長が言ったように、これから預ける人もいるわけですし、26年以降も入る人達を含めた地区の説明会をやるべきではないかと思っています。そういうことを含めて、説明した上で再編を進めていく。ただ、それを待つというわけには、先ほど事務局から説明があったように議会の関係とかいろんなことが入ってくるようですので。私が言いたいのは、ここで方向性を、検討委員会の意見をひとまとめにして、答申する。そのまとめたものについての説明会は地域において説明をして、この方向、すなわち、26年度に小学校が1校になって、健田小に移ること。幼稚園が26年度に1園になって、朝夷幼稚園に移り、27年度に改修した朝夷小学校の幼保一体施設に移ること。この方向についての御理解をしていただかないと、先の説明にはいなくなってしまうので、ここでそういう方向でよろしいと決めていただくのが一番良いと思いますが、小学校の方は了解したという形はとりましたが、幼稚園の方もそういうふうにしたらどうかという気がしますが、いかがでしょう。

委員 幼稚園と小学校は別々にということですけど、統合のスケジュールはここに提案されているスケジュールのとおりですか。小学校は統合しました、幼稚園は別ということにはならないですね。

委員長 そのスケジュールのとおりです。ただ議論するのに、とりあえず小学校のことはどうですかと、幼稚園についてはまだ議論する必要があるという話があったので、それでは少し話しましょうかという話の中の流れです。したがって、今おっしゃったとおりで、幼保一体化も小学校が1校になるのも同じ話の中でのことです。説明で納得がいかない、いくという問題があったとしても、流れの中では、そうしない限りは小学校も統合はできない。

教育長 ぜひ一体で考えていただきたいと思います。小学校だけ先に26年度統合で、幼稚園は後だということになりますと、健田幼稚園のいくつかのスペースを使うことを前提に小学校の26年統合になってきていますので、幼稚園の子供たちがいると空いている所がなくなってきました、今度は小学校の統合自体が変わってきますので、ぜひ一体で。特に、今、懸念されている海拔だとか、現在の朝夷小学校に入っていく道路の狭さ、そういったところに課題があるというのは、私ども十分承知していますので、いろんな対応を具体的に考えて行きたいと思っていますし、それに従って、皆さんの了解を得られれば、地区の説明

会を行っていきたいと思います。

委員長 今、教育長が言いましたように、先ほどから提案しています方向性が決まれば、その後、各地区に行って説明会が開催できると。そういうことも考えますと、ここで幼稚園も26年度に4園が統合するということを御理解いただけますか。

委員 ここで原案ができて、住民の説明会は何か月以内にやるとか、何回やるとか、どのくらいの期間を考えていますか。

教育長 各幼稚園・小学校のPTAでやりますと、PTA会員以外の方は出にくいかと思えます。地域の方、あるいは、これから幼稚園・保育所に入れる方も来ていただくことを考えると、例えば、市政懇談会を2か所でやりましたが、漁村センターで1回やって、保健センターで1回やって、あるいは、1回で終わりにするかとか、その辺は皆さん方でお考えいただいて、決めていきたいと思っています。

委員 ここで決めてしますと、保護者から「私たちの意見が反映されていない」と言われてしまうのかと思うと、もう一回、持ち帰って、各小学校、幼稚園の意見を私だったら言いたいと思いますが、皆さんがどう考えるのか分からないですけど。私はこれで良いかなと思いますが、先ほど、千倉中校長が言われたように「3階までかけて上がれば大丈夫」と。確かに、大丈夫だと思います。ただ、それを健田に言って納得してくれるかと。たぶん納得してはくれないですけど、教育委員会の皆さんが熱心に説明してくれれば、それで私は良いと思います。もう一度だけ、説明するのが本当は正しいのかなという気がするんですけど。皆を集めて1回2回だけでは、文句だけが出て、住民説明会が終わって、それを議会に持って行って、住民の意見ですと言って、議員の皆さんはそれで納得するのかと考えると、やはり、これは何回か説明が必要かと。反対する人は絶対います、意見がまとまらないのも分かっていますが、それは私たちの意見を瞬時に考えていただいて結構です。ただ丁寧な説明というのは必要だと思うんです。そういうことを考えると、情報発信してあげた方が良いのかなと思います。スケジュールの問題があるから、難しいというのは分かりますが、ここ1か月2か月で決めるのではなく、私はもうちょっと情報発信をしてあげてから、やった方が良いのではないのかと思います。もう一つ言わせてもらおうと、先ほどから教育委員会の話だと、小学校の統合が26年度で大丈夫ですかと聞くと、「大丈夫だと思います。」と言われて、「絶対、大丈夫だ。」という答えがないのが不安なので、大丈夫じゃなかった時にどうするのかと。その辺は教育委員会の方で大丈夫だという、課題というか行動力というか、大変だと思いますけど、いまさら戻すつもりはないですが、27年度で、もう一年、ゆっくりやった方が良いのかなと。これは私の意見ですからいいですけど、丁寧な説明

は必要だと思います。ですから、私はここで決めるのはいかがかなと思います。もう一回、やった方が良くと思います。

委員 先ほど健田のPTA会長の話を受けて、教育長の方から行きますという話をしていましたので、私はそのやりとりの中で、健田学区の人たちに特化して、そういう説明をするのかなと。今、委員の言ったのは、検討委員会のスケジュールどおりの地区説明会というような意味で、それは1回か2回というのは、私は別のものかなというふうに理解しているんですけど、どうなんですか、教育長、その辺のところは。

教育長 ちょっと乱暴になってしまうかもしれないですけど、健田のPTA会長が丁寧に説明して、アンケートもとっているわけですよ。その回収が1割です。七浦小は1回ですけど、忽戸小、朝夷小は2回の説明会をやりましたが、やはり出てくる方は限られてくるという。ですから、私どもとすると、サイレントマジョリティで、大多数の賛成の方は出てこないし、もう意見も出さないという状況にあるのかなと。したがって、例えば、やることはやぶさかではないですけど、健田幼小の説明会に行って話をする、あるいは地区の説明会をする。地区の説明会はいずれにしても、やらなくてはいけないと思っていますけど。それをやっても、PTAの方々、出てくる方は非常に限られてくるのかなという、そういう思いは持っています。丁寧にどうかは分からないんですけど、一応、それぞれのPTAを2回ずつやってきたり、あるいはアンケートをとったりということで、御意見をいただいているのかなとそのような思いは持っています。

委員 先ほど健田のPTA会長から、私は口下手で、うまく伝わらないのでというようなことで、それを拾って、教育長の方が行きましようと言ったと理解しているのですが、そうではないんですか。

教育長 要請があれば。健田幼小のPTAでこういう方向性が決まっていますということでの説明会でしたら、要請があれば行きます。あと、それとは別に地区の説明会はやらなくてはいけないと思っています。

委員長 地区の説明会というのは、小学校を中心としてではなく、これから幼保に入るとか、預けるとか、そういう保護者への説明をきちんとしておく必要があるのではないかということで、地区へと出ていくということです。健田の方はその説明会を過ぎなければ、結論的には無理だということですか。

委員 そうですね。今の段階で健田幼稚園はどうかと言われても、なかなか分からないので、説明していただければ、例えば、海拔の問題とか朝夷小の道路についてもクリアできるかなという気はしますけど。

委員 では聞きますが、説明会を開いて、現状と同じだった場合はどうなりますか。今、PTA以外の意見を聞いて下さいとなったときに、大半は1校で行きまし

ようというような意見だったと私は理解しているんです。それで、詳しく説明会をやって下さいということになった時に、説明会で結論も何も出なかった時にどうなるのか。それだったら、私の個人的な意見ですが、例えば、3月までにPTAの意見を集約してくれと言いたくなってしまう。これでは、いつまでやっても、堂々巡りをやっている気がする。例えば、次の説明会で、ある程度の方向性が決まります、決めたいと思いますというのがあれば、こちらの方も納得すると思いますが、その確約というか、そういうのをなしにして、説明会を開いてください、開きました、また同じ意見を言って、そのまま終わりというようなことになったら、どうするのか。

委員 どうするかと言われると、私も個人的な意見はありますけど、今日、結論を出せと言われても、これだけの反対意見があって、なかなか難しいと思うし。では、次の時にはどうだと言われても、私の一存では決められません。だから結論を出せということであれば、次の説明会の後に、例えば、本部で話をするとか、そういうことはありますけど、大勢の人に納得してもらおうということを考えた時には私が言うよりも、教育長が先ほど説明してくれたような感じで言ってくれば分かるかなという気はするので。そこで、ではどうするのかと言われるても。説明会をやってくれれば、疑問を解消できると思うんですけど。教育委員会から出していただいた資料を見れば、私はそれを見て分かったんですが、どうしたら、それを伝えられるのか。少なくとも私では難しい。

教育長 私が説明に行くと言ったのは、検討委員会での方向性は出ているかと。ですから、その方向性について御理解をいただきに行くという。疑問点があれば、それは丁寧に答えます。健田幼小PTAから要請があれば、健田幼小のPTAに行って、再編検討委員会の事務局という立場で、御心配している方の問題が解消できるような説明をしてくる。もう一つは地区の説明会についても、結論が元へ戻るとか、そういうことではなくて、検討委員会の意向を踏まえた説明ということで考えています。

委員 私が言いたいのは、皆に丁寧に説明したと、教育委員会も私たちも、後々、何か言われないうちに、少しでも丁寧に説明する。結論はこれで決まりでしょうけど、PTAとしては、やはり保護者の意見を持って、ここに集まりたい。ただ、私は前回、教育長や教育委員会の皆さんと話しをさせていただいたときに3月までに結論を出したら、このスケジュールで行くと聞いているので、3月ならば、1月に決めなくても、次の2月で決めれば良い、3月に決めれば良い。まだ時間的猶予があると思って、発言をさせていただきました。答えは分かっていますが、皆に説明する義務はあるかなと思っています。

委員長 要するにステップを踏んで進めようということですね。だいたいの方向性は見えてきたと思います。ただ疑問にうまく答えられないというような、健田の



先ほど出てきた意見に対して、説明会を開いたらどうかということですね。方向性は、もうこれで。皆さんの意見としては、小学校4校が1校になるのは、幼稚園が動かない限りにはありえないわけですから、方向性としては、できたとすればできたんですが、幼稚園の問題があるということで。

教育長　　今、委員が言ったとおりで、私どもが考えているのは、今日は意見具申につながるような結論ではないということです。今日はこれまで積み上げてきて、再編検討委員会としては、出した案の方向で行こうと。これを持って、地区説明会とか必要な説明会をやって、いろんな意見や質問が出た中で、再編検討委員会として意見具申、例えば、スクールバスについてはこういう配慮が必要だとか、そういうものを付け加えて、意見具申書ができるわけです。そこが、2月に何か所かで説明会やった後の再編検討委員会で、意見具申のための最終的な結論が出されることになるかなと考えています。ここで、あいまいなままだと私ども説明会に行けないので。

委員長　　今、教育長が言ったとおり。だいたい方向性は決まったとみて良いのではないかと思います。小学校が決まれば、幼稚園のことについても。そこに大きな問題があれば別ですが、ないとすれば、説明会で補うというか、説明に行くというのが今の教育長の話だと思います。結論を急ぐわけではありませんが、具申書をつくったり、予定からいったら、もうリミットかと私は思います。そこで、もう一度、ここで確認します。小学校は26年度に4校統合して、健田小学校舎を使用する。幼稚園は26年度に4園が統合して、朝夷幼稚園舎を使用する。そして、27年度から統合幼稚園とちくら保育所を改修した朝夷小学校舎で幼保一体施設として開設する。これを検討委員会の委員の皆さんの意見として、地域の説明会に出て行き、その後、そこから具申のものが作成されるということになります。では、御了解ということでよろしいですか。

(異議の声なし)

委員長　　異議はなさそうですので、続いて、議事第2号「第7回会議開催日程について」事務局からお願いします。

事務局　　議事第2号「次回会議開催日程について」ですが、6.「その他」の中で、今後の予定と合せて調整したいと考えております。

委員長　　それでは、次回の会議日程については、「その他」の中で調整いたします。これをもちまして、本日の議事については終了いたします。議事が終了しましたので、傍聴人は退席をお願いいたします。

(傍聴人退席)

委員長　　6.「その他」について、事務局から説明をお願いします。

事務局　　資料を配付します。それでは、今、配付しました資料について説明します。千倉地区の学校再編の方向性がおおむね決定しましたので、事務局といたしま

しては、平成24年度中に市議会に意見具申の報告を考えており、26年度統合小学校・幼稚園に向けた準備をしていきたいと思っておりますので、御理解を賜りたいと存じます。それでは、今後の予定を順次説明します。まず、次回の検討委員会を2月13日（水）千倉漁村センターで午後7時から行います。内容については、地区説明会当日の資料確認等を行います。その後、千倉地区住民向けの地区説明会を開催します。日程は、2月26日（火）千倉保健センター、2月28日（木）千倉漁村センターで、両会場とも午後7時からとします。日程等の周知につきましては、千倉地区全戸にチラシを個別配付します。また、地区説明会終了後の検討委員会として、3月4日（月）千倉保健センターで午後7時から行います。それでは以上をもちまして、第6回千倉地区学校再編検討委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

（閉会）